

2015年モンゴル土木学会(MACE)年次大会参加報告

交流協定を有するモンゴル土木学会（Mongolian Association of Civil Engineers；略称 MACE）の年次大会（MACE Annual Meeting 2015）が、6月18日（木）、19日（金）に首都ウランバートルで開催された。土木学会に参加依頼があり、睦好宏史氏（埼玉大学）、牧剛史氏（埼玉大学）、恵崎孝之氏（国土交通省）、藤田智弘氏（土木研究所）、藤木氏（梓設計）、山口（九州工業大学）が参加した。藤木氏はウランバートル新空港建設に関わっておられ、現地からの参加であった。

今年の MACE 年次大会では総会に加えて、次の3つの国際プログラムが企画された。

- 1) International Seminar on Construction Site Management & Quality Control. International Case Studies
- 2) International Forum on Geotechnics: Immediate Issues and Future Perspectives
- 3) International Roundtable Meeting on PPP. Policy & Implementation. Case studies

土木学会からは、Seminar で藤木氏、Forum で藤田氏、Roundtable Meeting では恵崎氏が発表された。加えて、睦好先生と牧先生が特別講演をされた（写真1）。日本以外に、モンゴル、韓国、台湾、フィリピンからの参加・発表があり、熱心な意見交換が行われた。参加者、発表数とも、日本の土木学会が特に多く、Ganzorig MACE 会長から感謝された。

モンゴルには土木学会の分会がある。前分会長の Enkhutur Shoovdor 氏は、睦好先生指導の下、埼玉大学で修士号を取得された方で、現在、モンゴル政府の建設・都市開発省（Ministry of Construction and Urban Development）で大臣顧問という要職に就かれている。今回、Enkhutur 氏の計らいで、19日の朝、日本からの土木学会関係者が建設・都市開発省に招かれ、Tsogtbaatar Damdi 大臣にお会いする機会を得た（写真2）。ほんの短時間の面会と事前にお聞きしていたが、当日は協力関係の話がはずみ、30分あまりの会合となった。大臣との会合は、Enkhutur 氏がおられてこそ実現したものであり、人的ネットワークの重要性をあらためて認識した次第である。



写真 - 1 睦好先生の講演

今年の MACE 年次大会では、長年、会長を務められた Ganzorig 氏が退かれ、Erdenebat Tsogtoojav 氏（写真3）が新たな会長に就かれた。MACE との関係も新たな局面を迎えることになる。また、この大会で4名の名誉会員（Honorary Member）が選出された。モンゴルの技術者2名、台湾の Luh-Maan Chang 先生、山口がこの榮譽に浴した。外国人の名誉会員は、我々が6番目とのことであった。



写真 - 2 Tsogtbaatar 大臣（左から3番目）、Enkhutur 大臣顧問（右端）と土木学会関係者



写真 - 3 会長集合写真: Ganzorig 前 MACE 会長（左から2番目）、Kim 大韓土木学会会長（左から3番目）、Erdenebat 新 MACE 会長（右から2番目）、Kim 韓国分会会長（右端）

【記：国際センターモンゴル Gr.リーダー 山口栄輝】